

TOTO

清水器兼用シングルレバー混合栓

TKG38PJ型


商品の機能が十分に発揮されるように、この施工説明書の内容に沿って正しく取り付けてください。取り付け後は、お客様にご使用方法を十分にご説明ください。




1 安全上の注意


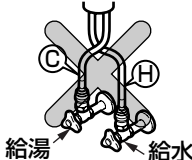



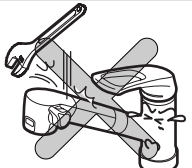
(安全のために必ずお守りください。)





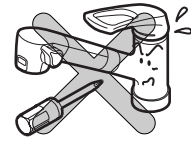
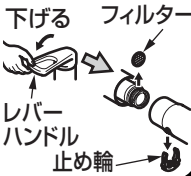
取り付け前に、この「安全上の注意」をよくお読みのうえ、正しく取り付けてください。

- この説明書では商品を安全に正しく取り付けただき、お客様や他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、いろいろな表示をしています。その表示と意味は次のようになっています。
- お守りいただく内容の種類を、次の絵表示で区分し、説明しています。

表示	意味
 注意	この表示の欄の内容を無視して誤った取り扱いをすると、傷害または物的損害が発生する可能性を示しています。

	してはいけない「禁止」内容です。
	分解しないでください。
	必ず実行していただく「強制」内容です。

注意	
	<p>湯水を逆に配管しないでください。 水を出そうとしても、湯が出てやけどをすることがあります。</p> 
	<p>給湯温度は60℃より高温で使用しないでください。 60℃より高温でご使用になると、水栓の寿命が短くなり、破損して水漏れのため家財などをめらす財産損害発生のおそれがあります。</p> 
	<p>強い力や衝撃を与えないでください。 故障や水漏れの原因になります。</p> 

注意	
	<p>カートリッジを落としたり、カートリッジに強い力や衝撃を与えないでください。 カートリッジが破損・変形し、十分な性能を発揮できなくなります。</p> 
	<p>本商品TKG38PJ型にはTN503UH(アルカリイオン水生成器用本体分岐金具)を取り付けしないでください。 アルカリイオン水生成器の接続ホースが外れ、水漏れして家財などをめらす財産損害発生のおそれがあります。</p> 
	<p>凍結が予想される場所には取り付けしないでください。 部品が破損し、水漏れして家財などをめらす財産損害発生のおそれがあります。</p> 
	<p>この説明書に記載された項目以外は、水栓本体内部を分解・改造しないでください。 故障や水漏れの原因になります。</p> 
	<p>必ず実行 フィルターの掃除をする際は、いきなり止め輪を外さずに、レバーハンドルを閉めてから行ってください。また、スパウトが熱くないことを確認してください。 湯水が噴き出して、やけどや家財などをめらす財産損害発生のおそれがあります。</p> 

1-2

安全上の注意 (安全のために必ずお守りください。)

注意



必ず実行

水道水および飲用可能な井戸水をご使用ください。

故障や水漏れの原因となります。
また、体調を損なうおそれがあります。



清水吐水口に汚れた手で触れたり、ハンドシャワーを水中に没するような使い方はしないでください。



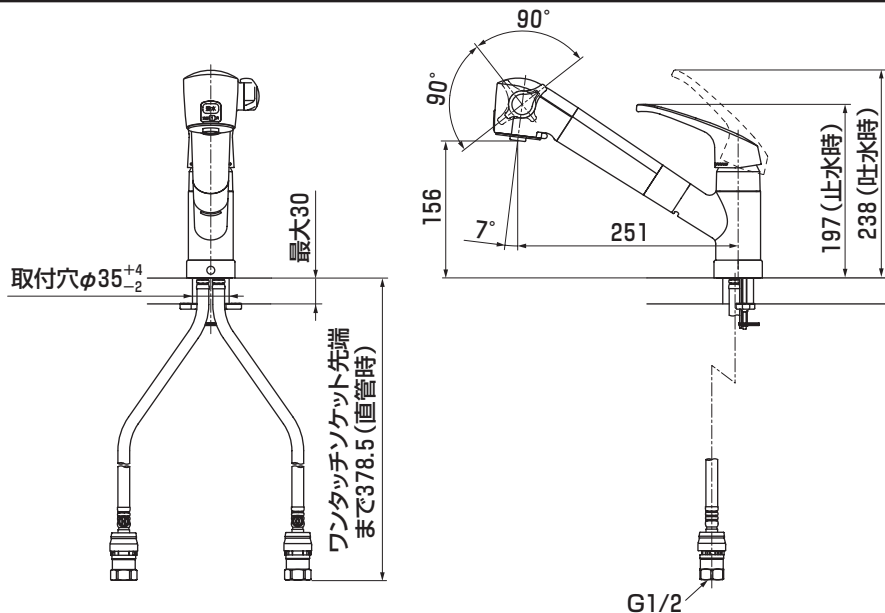
一般細菌が増えやすくなり、体調を損なうおそれがあります。



2

完成図

※品番によっては、図と現品の形状が一部異なることがあります。



3

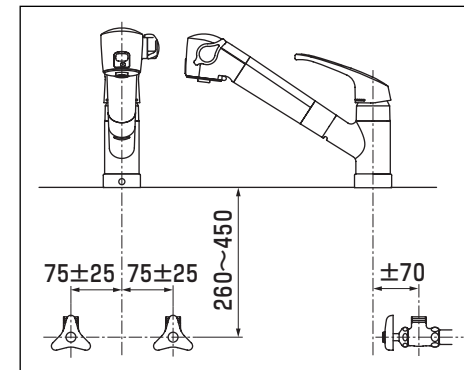
仕様

給水・給湯圧力	最低必要水圧	0.05MPa (流動圧)
	最高水圧	0.75MPa (静水圧)
使用最高温度		60℃以下
使用可能水質		水道水および飲用可能な井戸水
使用環境温度		1~40℃
用途		一般住宅台所用

4

取付け前に

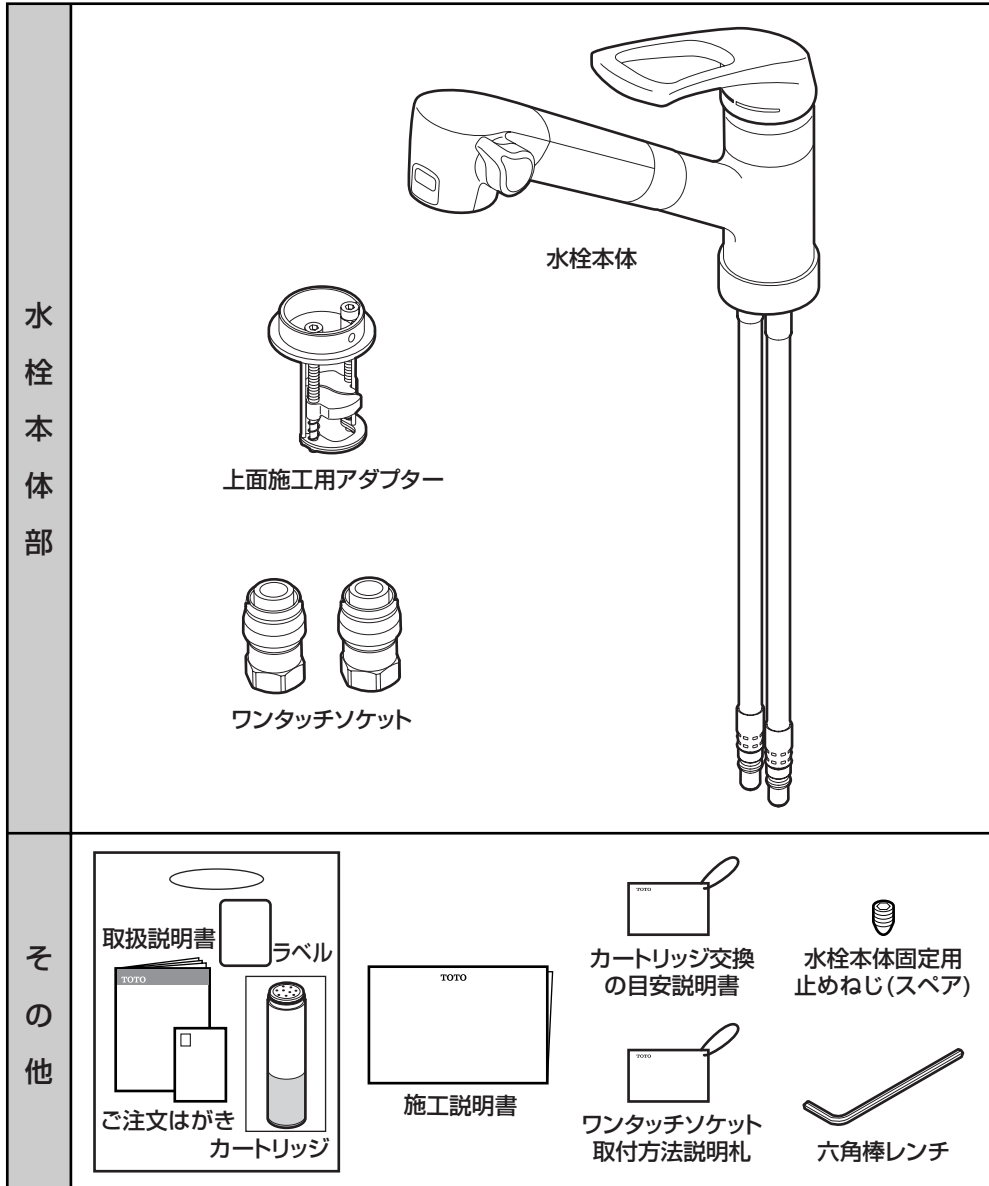
- 給水圧力が0.75MPaを超える場合は、市販の減圧弁で0.2~0.3MPa程度に減圧してください。快適に水栓をお使いいただくためには、0.2~0.3MPa程度の水圧をおすすめします。
- 誤操作などによるやけど防止のため、給水圧力は給湯圧力より必ず高くするか、同圧になるようにしてください。また、湯側を加圧する場合でも、必ず湯側圧力を水側より低くしてください。
- 誤操作などによるやけど防止およびカートリッジ保護のため、給湯温度は60℃以下に設定してください。
- 給湯機からの給湯管は、抵抗を少なくするため最短距離で配管し、配管には必ず保温材を巻いてください。
- 瞬間式給湯機の場合、給湯機的能力・水圧などの条件により、給湯機が着火しないことがあります。
- 梱包前に通水検査をしていますので、商品内に水が残っている可能性がありますが、商品には問題ありません。(ただし、カートリッジは未通水)
- 水勢調節および器具の点検を容易にするために、別途止水栓を必ずご用意ください。右図に示す範囲内の止水栓位置にて、施工が可能です。



5

部品の確認

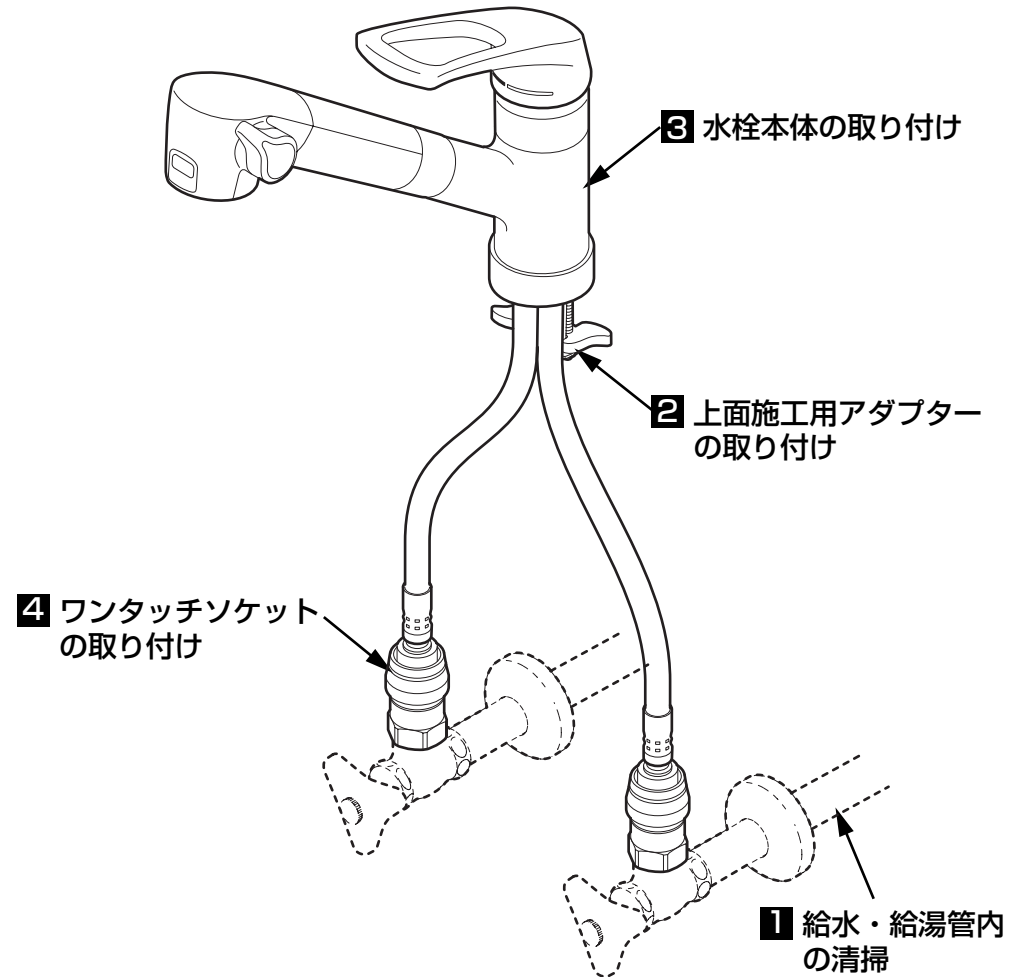
次の部品があることを確認してください。



※品番によっては、図と現品の形状が一部異なることがあります。

6-1

施工手順



1 給水・給湯管内の清掃

取り付ける前に **必ず給水・給湯管内のごみ、砂などを完全に洗い流す。**

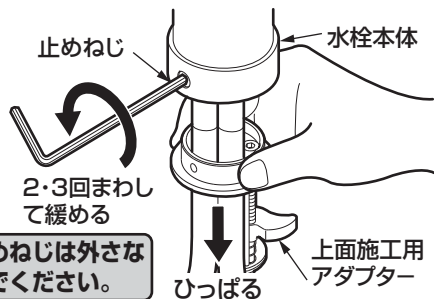
重要

2 上面施工用アダプターの取り付け

上面施工用アダプター施工上の注意点

- 上面施工用アダプターは、**正しく取り付け**ください。カウンター内への水漏れや、水栓本体の固定強度が低下して本体にガタが発生するなど、不具合の原因となります。
- ステンレス製カウンターで補強板がない場合は**固めの補強板(合板など)を取り付けて**ください。
- 補強板が**十分乾燥した状態で取り付け**てください。
- 補強板に湿り気がある場合は水気をふき取り**ドライヤーで乾かして**ください。
- 取り付け面に**養生シート**などがあれば取り除いてください。
- 取り付け可能なカウンター穴径は **φ33~φ39** です。
- 電動ドライバーを使用する場合は、クラッチ作動トルクを**2~3.4N・mの範囲**に必ず設定してください。
 なお、クラッチ回転速度を**「低速」にしないで**ください。トルクが大きくなり、器具が破損するおそれがあります。

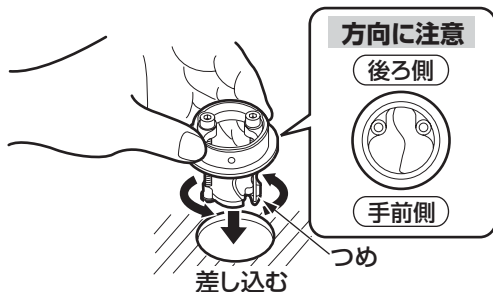
① 水栓本体下部の止めねじをゆるめる。



② 上面施工用アダプターを外す。

③ つめを閉じた状態にする。

④ 上面施工用アダプターをカウンターの穴に差し込む。



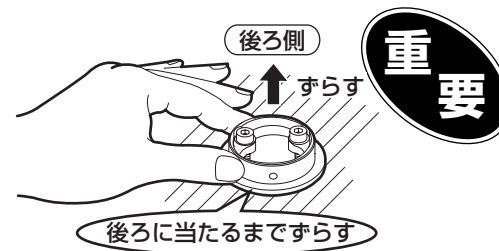
注意

上面施工用アダプターの方向に十分注意してください。

⑤ 手前に当たるまでずらす。

注意

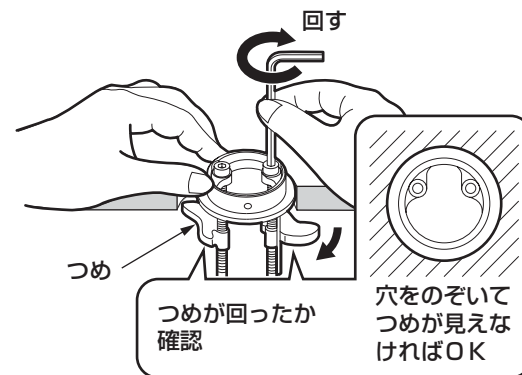
手前にずらさないと水栓本体のガタツキ発生やカウンター内への水漏れのおそれがあります。



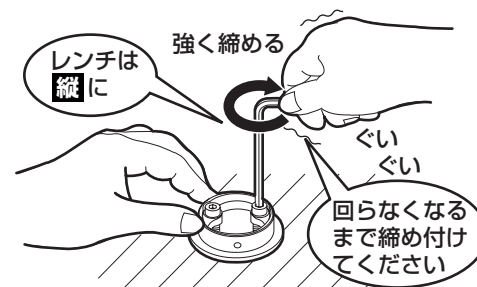
⑥ つめを広げる。

注意

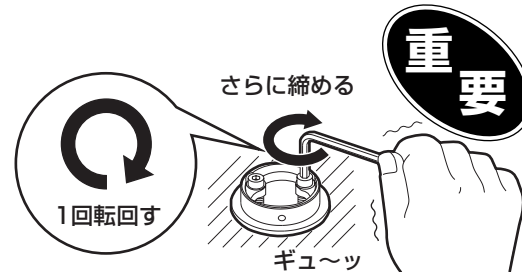
締め付け後は、固定つめが回っていることを確認してください。固定つめが回っていない場合、一度ボルトをゆるめたあと、再度締め直してください。



⑦ 六角棒レンチを縦にしてボルトを左右均等に締める。



⑧ さらに六角棒レンチを横にしてボルトを**1回転増締めして**確実に固定する。



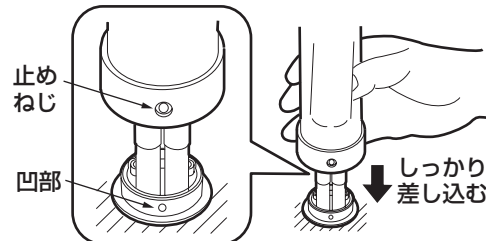
裏面へつづく

3 水栓本体の取り付け

- ① 水栓本体の止めねじと上面施工用アダプターの凹部を合わせるようにしっかり差し込む。

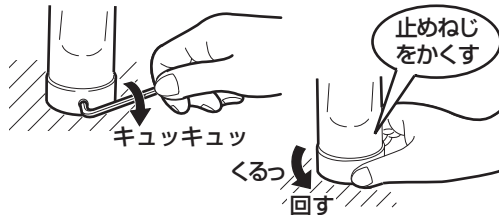
注意

水栓本体に浮きがないよう注意してください。



※水栓が入らない場合には、止めねじを少しゆるめてください。

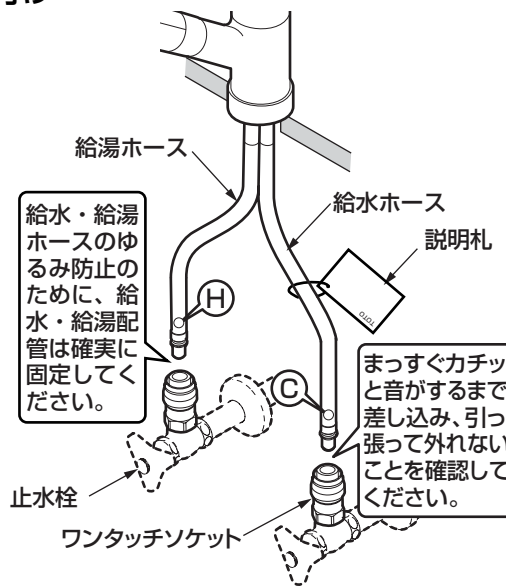
- ② 水栓本体の止めねじを締めて水栓本体を固定する。
- ③ カバーを回し、止めねじをかくす。



4 ワンタッチソケットの取り付け

- ① ワンタッチソケットを止水栓に固定する。
- ② 給水・給湯ホースに異物の付着がないことを確認し、ワンタッチソケットにまっすぐ奥まで(カチッと音がするまで)確実に差し込む。

※この際、同梱の「ワンタッチソケット取付方法」の説明札を必ずホースに通してください。



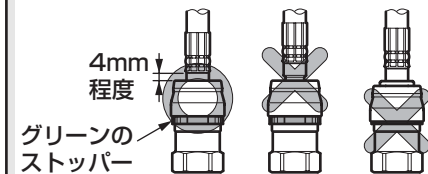
給水・給湯ホースのゆるみ防止のために、給水・給湯配管は確実に固定してください。

まっすぐカチッと音がするまで差し込み、引っ張って外れないことを確認してください。

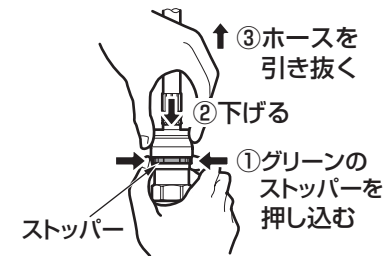
取り付け後の確認

重要

- ホースをまっすぐ引っ張って外れないこと
- 奥まで確実に差し込まれていること

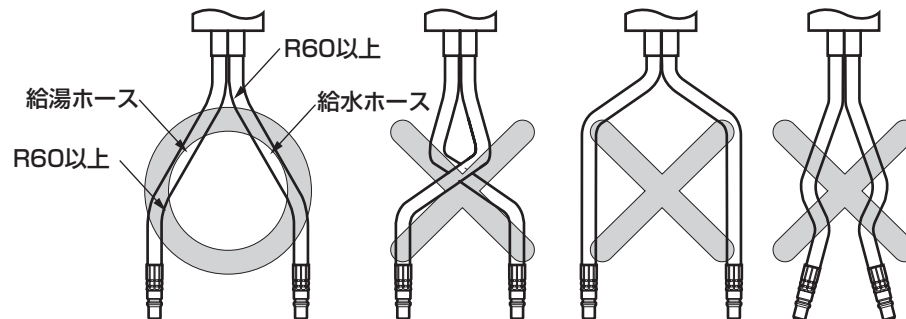


〈ワンタッチソケットを取り外す場合〉



給水・給湯ホース施工上の注意点

- ホースを必要以上の力で曲げて折らないように注意してください。万一折れた場合は、指でつまんで元どおりにしてください。
- ホースの折れに、ご注意ください。ホースの最小曲げ半径は60mmです。それよりも小さく曲げて使用しますと、ホースが折れ、折れた部分で早期破損を生じる可能性があります。
- ホースを水栓本体端面から極端に屈曲して施工しないでください。
- ホースを無理に引っ張らないでください。ホースが折れる可能性があります。
- ホース同士の不要な接触は避けてください。外部補強層の摩擦による外傷でホース性能の劣化の可能性があります。

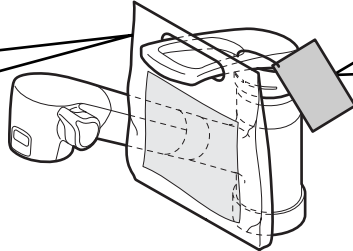


7

施工後の調節

施工時にはカートリッジを取り付けないでください。
実際に水栓を使うお客様に取り付けていただきます。

カートリッジが入った
ビニール袋は水栓の
レバーハンドルに引
っかけてください。



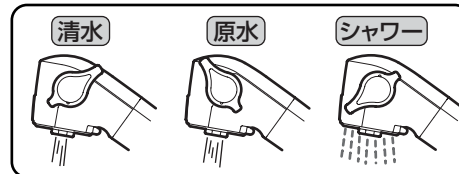
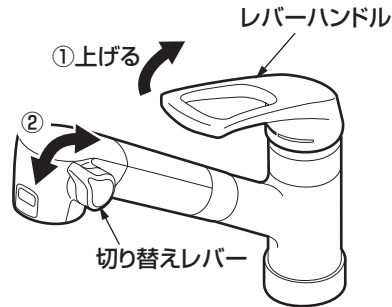
ハンドルに取り付け
てある説明札は、取
り外さないでくださ
い。

1. 水出し確認

- ①取り付けが完了したあと、配管部の元栓を開け、スパウトから水が出るか確認する。
- ②切り替えレバーを操作し、水流が切り替わることを確認する。(清水→原水→シャワー)

※水圧が高い(0.55~0.75MPa)場合、および温度調節がうまくできない場合は、レバーハンドルを湯側(左)いっぱいにした時と、水側(右)いっぱいにした時に、どちらも原水またはシャワーモードにて約15秒で2Lのやかんを満たす程度の流量になるよう止水栓を調節してください。

※カートリッジは取り付けずに原水またはシャワーにて湯と水の吐水量を調節してください。

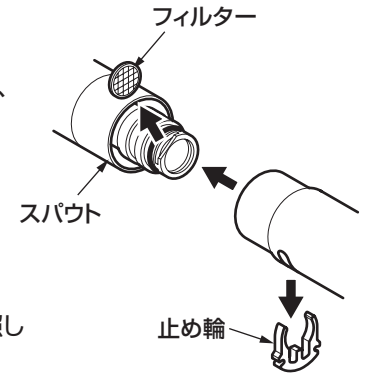


2. フィルターの掃除

取り付け後は必ずフィルターを掃除してください。

フィルターが詰まると流量が少なくなったり、水または、熱湯しか出なくなるなど、十分な機能が発揮されなくなります。また、お客様にも時々掃除していただくようにご説明願います。

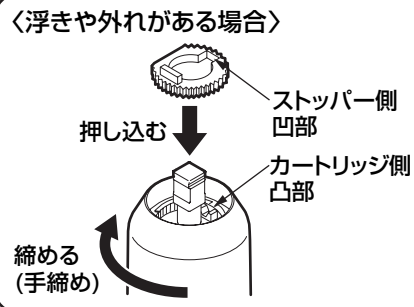
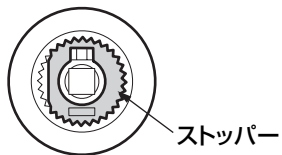
※フィルターの掃除をする際は、必ずレバーハンドルを閉めてから行ってください。また、スパウトが熱くないことを確認してください。
(詳しくは取扱説明書の「日ごろのお手入れ」を参照してください。)



8

レバーハンドルの取り付け(メンテナンス時)

- ① ストッパーの浮きや外れがないか確認する。
 ※浮きや外れがある場合はカートリッジ側凸部とストッパー側凹部を合わせて押し込んでください。

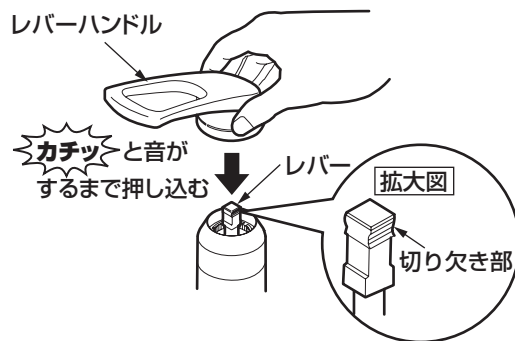


※カートリッジ押さえ歯とストッパーの歯が合わないときは、カートリッジ押さえを **締め込む方向** にて歯を合わせるように調整してください。

- ② レバーハンドルとレバーの方向に注意し、押し込む。
 ③ レバーハンドルが容易に抜けないことを確認する。

注意

レバーハンドルとレバーの切り欠きとの方向に注意してください。レバーの切り欠きは**両サイド**にあります。



9

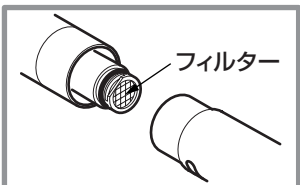
使用上の注意

ご使用中に以下のような現象が発生することがありますが、**故障ではありません。**お客様に十分にご説明ください。

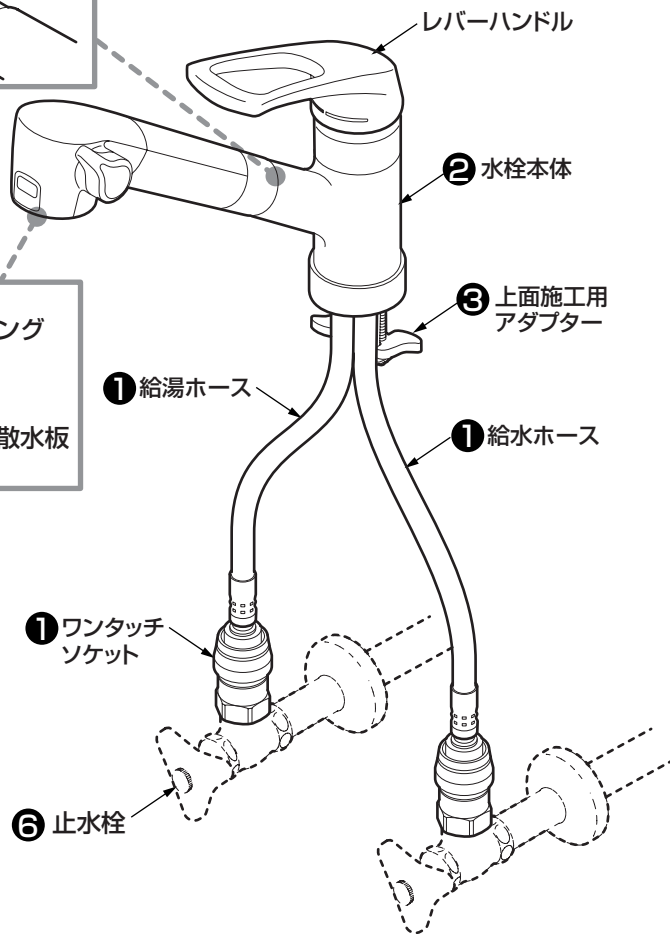
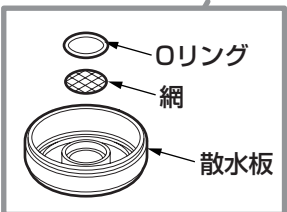
現象	説明
急に湯・水を止めると、ハンドル操作が重く感じる。	急に水を止めると、「ドン」といった不快な音が発生することがあります。この商品は、急なハンドル操作をしたときに抵抗をもたせることで、この不快な現象を低減させる機構がはたらいしているため、故障ではありません。
使いはじめに比べて、しばらく使用すると、ハンドル操作が重く感じる。	ご使用により商品内部の部品がなじみ、安定したことによるもので、故障ではありません。

取り付けが完了した後、次の項目を確認してください。

⑤ フィルター



④ 散水板



水漏れの確認

水漏れがないか確認してください。

- ① 給水・給湯ホースはワンタッチソケットにしっかり差し込まれていますか？

↳ ⑥.3 - ④「ワンタッチソケットの取り付け」参照

ガタツキの確認

ガタツキがないか確認してください。

- ② 水栓本体の止めねじのゆるみはないですか？

↳ ⑥.3 - ③「水栓本体の取り付け」参照

- ③ 上面施工用アダプターはしっかり固定されていますか？

↳ ⑥.2 - ②「上面施工用アダプターの取り付け」参照

流量および吐水温度の確認

流量が少ないときや、温度調節がうまくできない場合は、次の項目を確認してください。

- ④ 散水板のごみ詰まりはないですか？

↳ 散水板の掃除をする。



- ⑤ フィルターのごみ詰まりはないですか？

↳ ⑦ ②.フィルターの掃除参照

- ⑥ 止水栓は開いていますか？

↳ 止水栓で流量を調節する。



※同梱の取扱説明書は、必ずお客様にお渡しください。

再生紙を使用しています。